

極崩れ防止金具の考案に ついて (742)

秋田営林署
基幹作業職員
事業所主任

仁別製品事業所
○鎌田 鈴雄
仙北谷 誠

はじめに

当署の秋田貯木場における巻立作業は、従来から極崩れ防止と安全作業確保のため、カスガイや木片、砕石などを使用してきましたが、作業効率等の一層の向上を図るため、日頃から同僚と工夫を凝らし、「極崩れ防止金具（アングルストッパー）」の器具を試作し、平成2年度から実際の巻立作業に使用してきたところ好評を得たので発表します。

1 規格・構造

アングルストッパーの素材は、L型厚さ5m/mのアングルで、「図-1」のように製作しました。

2 使用結果

アングルストッパーを使用して巻立した場合、「図-2」のとおりアングルストッパーの下部の角の部分丸太の重さによって台木にくい込み、従来から使用してきた木片、砕石より材の安定が図られることが分りました。

また、冬期間においても、台木が凍結した際、従来ですと滑って外れることがありましたが、アングルストッパーの場合は、材に丸太の重さでくい込むため外れることもなく、材の安定が確保出来ました。

3 考察

以下使用した結果、得られた利点についてまとめてみました。

- (1) 冬期間、凍結した台木の場合でも材の安定が確保される。
- (2) カスガイの使用が少なくなり、カスガイの黒ずみのあとが少なくなり、商品価値の低下を防ぐ。

- (3) 碎石による材面の損傷がない。
- (4) 長期間の使用が可能である。
- (5) 1個の重量は700gで、特別台木に打込む必要もなく、取扱い、持運びが容易になった。
- (6) 碎石、木片を使用する場合は、ローダーで材を押えている必要があったが、アングルストッパーの場合は、その必要がなくなった。

むすび

最終貯木場における作業については、安全でかつ効率的に、また、お客様のニーズに合った選別巻立が求められているのは当然のことと受けとめて、今後とも作業効率を高める安全な巻立作業をしていきたいと考えます。

そして、このアングルストッパーについては今後、規格別（大、中、小等）の試作とその使用区分を検討するなど、まだ改善すべき課題は多々あると思いますので皆様のご指導をお願いします。

図-1

規格・構造図

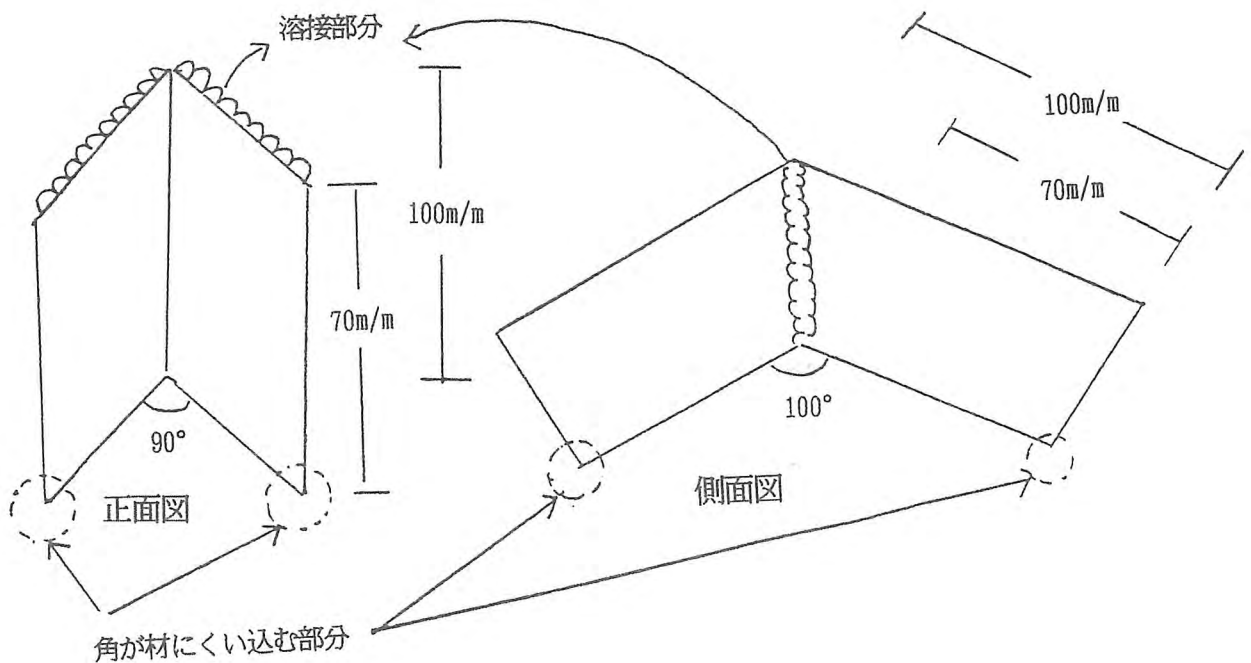


図-2

使用状況図

